

【資料 4-2】学習指導方法の工夫

(教員アンケート H24・H27・H29 年度実施)

項目・内容	学部教育			具体例	大学院教育			具体例	全共教育			具体例
	H24: 件数	H27: 件数	H29: 件数		H24: 件数	H27: 件数	H29: 件数		H24: 件数	H27: 件数	H29: 件数	
少人数授業	6	9	17		11	12	15		5	6	5	
対話・討論型授業	6	15	16	・グループ討論(5名程度) ・質の異なる3つの集団を準備 (受講学生の属性やテーマによつて多様な仲間づくり) ・グループワーク, ペアワーク	15	15	18	・グループ討論(5名程度) ・必ず一人1回の発言を促す ・隣の人とのディスカッション	10	9	13	・予習の徹底による対話型授業 ・グループワーク, ペアワーク
講義・演習の併用型授業	6	3	7		2	1	4			1	3	
デモ・実験・現物観察等による体験型授業	5	4	3		3	3	4		6	5	2	
野外調査・現物調査を組み入れた授業	5	6	10	・現場体験(インターンシップ)	4	3	5	・現場体験(インターンシップ)	3	3	7	
質問の多用 (それに対する回答と議論に基づく授業展開)	1	2	4	・事前学習に基づいた質問・意見を講義時に提出させ、その場で回答する		1	2	・事前学習に基づいた質問・意見を講義時に提出させ、その場で回答する	2	2	2	
プレゼンテーションの活用(重視)	1	4	3		3	7	4			3	3	
その他				・初回到授業のテーマと意義を詳細に説明 ・時事問題への言及 ・必ず全員に発言させる ・学生による主体的な課題設定 ・学生の創造的実験の実施 ・毎回、授業中に出された課題について自分の意見を提出させ、翌週、それを用いて討論				・最新の研究成果や話題を提供 ・時事問題への言及 ・毎回、授業中に出された課題について自分の意見を提出させ、翌週、それを用いて討論				・初回到授業のテーマと意義を詳細に説明 ・毎回必ず発言させる ・学生による主体的な課題設定 ・野外実習での自由研究 ・毎回、授業中に出された課題について自分の意見を提出させ、翌週、それを用いて討論
英語論文・教科書・教材の利用	3	2	1		5	4	2					
画像・映像・音声資料の活用(ウェブ資料)	6	4	3		2	2	1		6	9	5	
講義資料・補助資料の配布	2	4	1			3	1		2	4	1	
パソコンの活用 (デモ、シミュレーション、演習解答)	1	1	1			3			1		1	
教科書・教材の作成					2						1	・ビデオ教材の作成とその活用
その他												・学生のタブレット利用
レポート・小テスト・演習問題 ・毎回、複数回、小単元毎 ・添削後返却	1	2	2	・事前の資料講読の指示	2		1		3	4	5	
TAの活用	4	8	3		2		1		7		7	
授業用ウェブサイトの活用 (資料、プログラム、課題)	1	1	1			1	1		2	1	2	
英語による授業(対話・討論型等)	1	1			2	3			1	3		
自律型学習支援システム(CALL)の活用									4	3	2	
学習支援システム(PandA)の活用						1				1	4	
その他				・Twitterの活用(授業中の質問・感想の提示・共有) ・卒業論文・研究のテーマが出来るだけ早く決められるような助言				・Twitterの活用(授業中の質問・感想の提示・共有) ・適切な先行研究を追ってゆけるような助言 ・京大内の他の大学院や他大学の院生、研究者との交流 ・通常の授業の他に月例の発表演習				・講義後にリアクションペーパーを提出させ、次週にフィードバック ・理論的知識の実践的な場での活用を促す ・チーム・ティーチング(複数の教員での丁寧な実技実習の指導) ・実験実習の改善の検討(国際高等教育院とともに)